

新潟市認知症初期集中支援チーム 「おれんじサポート」の実施状況について

新潟市福祉部地域包括ケア推進課

新潟市認知症初期集中支援チームの実施状況

	27年度 (28.1~ 28.3)	28年度	29年度	30年度	計
相談件数	16	34	35	39	124
支援対象数	6	20	29	23	78
支援終了者	0	13	23	23	59
支援未実施	10	14	6	16	46

※H30年度はR1.7末時点の集計であり、支援未実施には検討中(6件)を含む
※支援終了者はその年度に終了した者の数
※支援未実施の内訳: 介入前に医療・サービスにつながった、状態が落ち着いた、
状態悪化し入院、家族が介入拒否 など

新潟市認知症初期集中支援チームの実施状況

【平成30年4月～平成31年3月】

おれんじサポート	相談件数	支援対象数	支援終了者	支援未実施
北・東	1			1
中央	18	8	14	10
江南	3	3	2	0
秋葉・南	7	7	6	0
西・西蒲	10	5	1	5
計	39	23	23	16

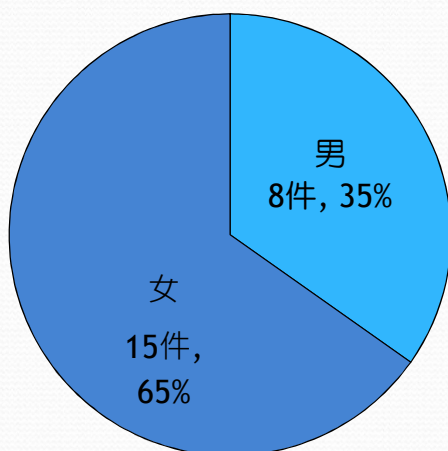
※R1.7末時点の集計であり、支援未実施には検討中(6件)を含む

※支援終了者は平成30年度に支援が終了となった者

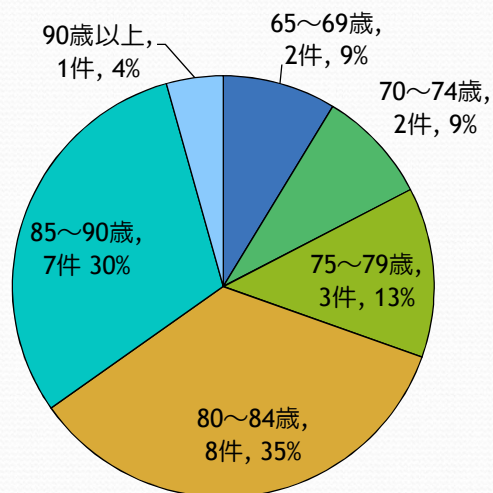
支援対象者の状況

【平成30年度】

性別 (n=23)



年齢区分 (n=23)

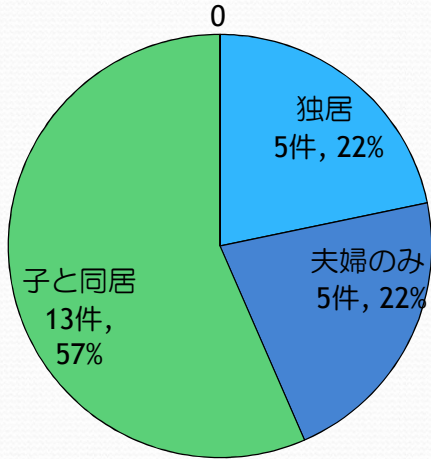


- ・女性の割合が多い(全国平均と同様)。
- ・75歳以上の対象者が約8割を占める。

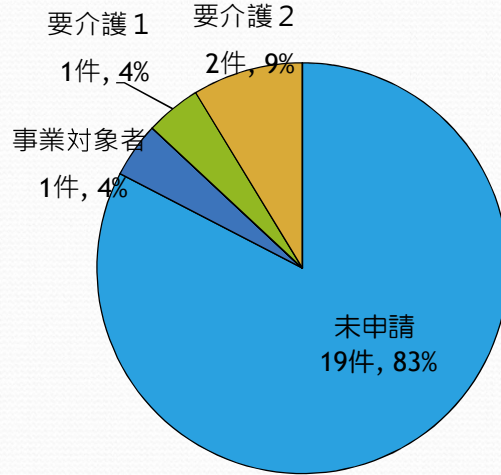
支援対象者の状況

【平成30年度】

世帯構成 (n=23)



要介護度 (n=23)

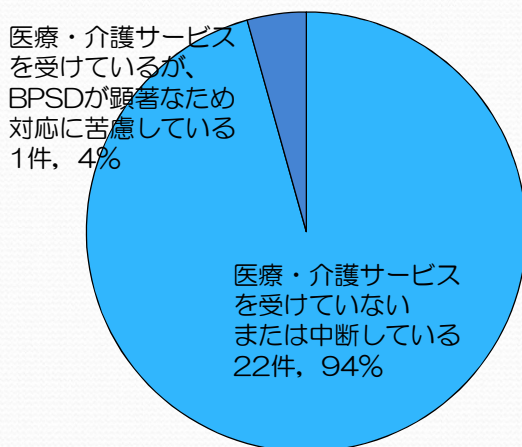


- ・子と同居の対象者が多い傾向がある。
- ・介入時、83%が要介護認定未申請。

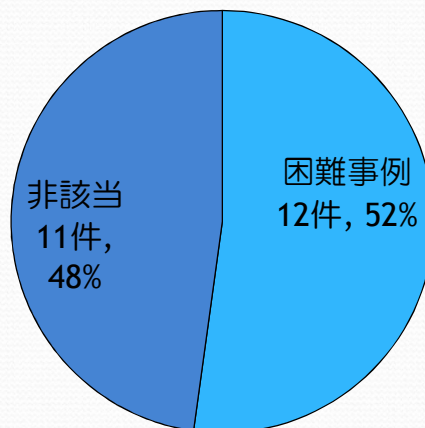
支援対象者の状況

【平成30年度】

対象分類 (n=23)



困難事例 (n=23)

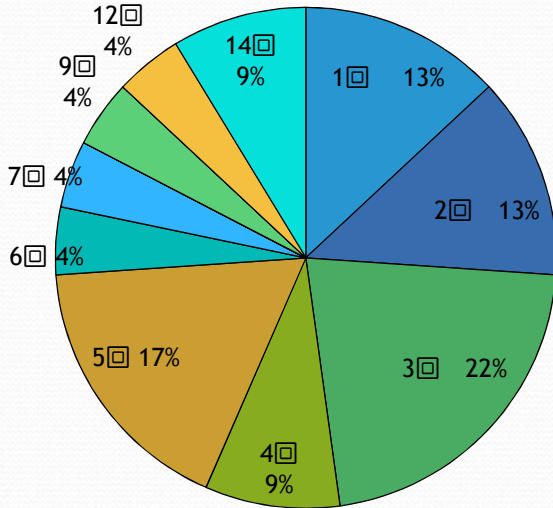


- ・対象者としては、ほとんどが医療・介護サービスを受けていない、または中断している方である。
- ・支援対象の半数が困難事例である。

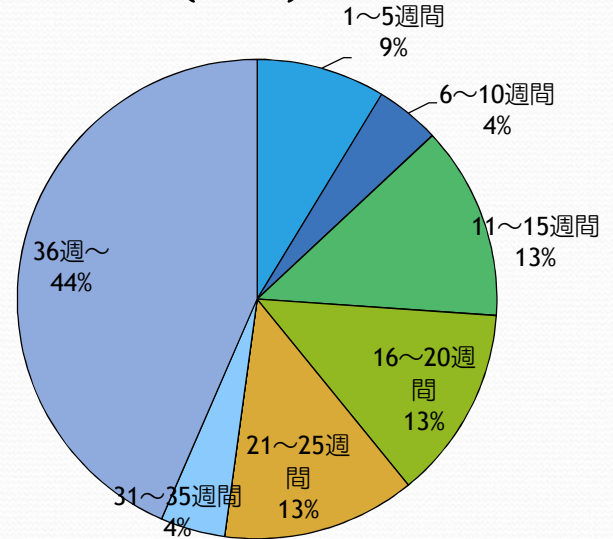
支援終了者の状況

【平成30年度に支援終了した者】

訪問回数 (n=23)



支援終了に至るまでの期間 (n=23)

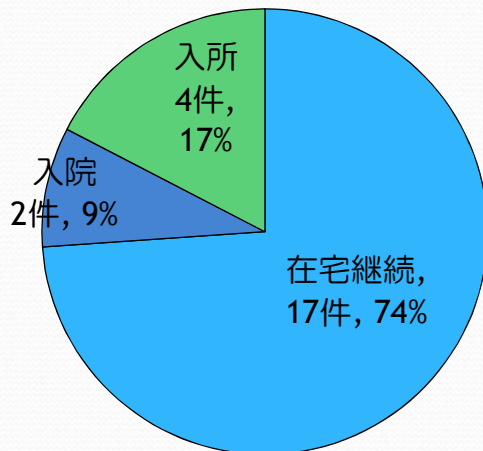


- ・延訪問回数114回、訪問回数の平均は5.0回。
- ・支援終了に至るまで約5割が6ヶ月以上の期間を費やしている。

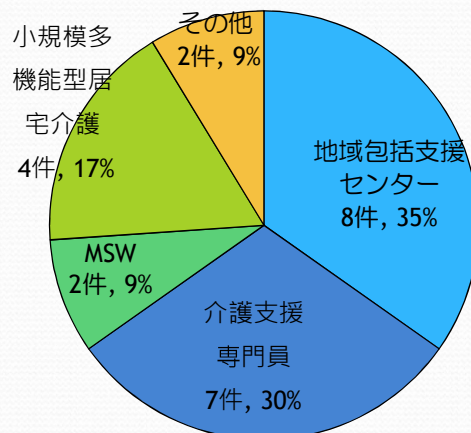
支援終了者の状況

【平成30年度に支援終了した者】

支援終了後の生活の場所 (n=23)



支援終了後の引継ぎ先 (n=23)



- ・支援終了後の転帰先としては74%が在宅継続となっている (全国平均とほぼ同じ)。
- ・引継ぎ先としては介護支援専門員と地域包括支援センターが65%を占める。

医療サービスの導入率

【平成30年度に支援終了した者】 n=23

● 医療受診

74%

- ・専門医での鑑別診断後、かかりつけ医へ
- ・近医紹介により、受診継続へ
- ・通院困難により訪問診療医へ

残り26%の状況・・・

- ・本人・家族が受診の必要性を感じていない
- ・かかりつけ医より専門医を紹介するが拒否
- ・1回往診するがその後の受診は拒否
- ・こころの健康センターに受診勧奨を引き継いだ

介護サービスの導入率

【平成30年度に支援終了した者】 n=23

● 介護等サービス

57%

- ・訪問看護の利用
- ・デイサービスの利用
- ・傾聴ボランティアの導入
- ・施設入所 など

残り43%の状況・・・

- ・家族・本人がサービスの必要性を感じていない。
- ・家族・家族が拒否
- ・BPSDが顕著で医療保護入院となった
- ・家族への対応方法指導でサービスは不要だった

医療または介護等サービスへの導入率は87%